

# 2015年3月期第1四半期 決算説明会資料

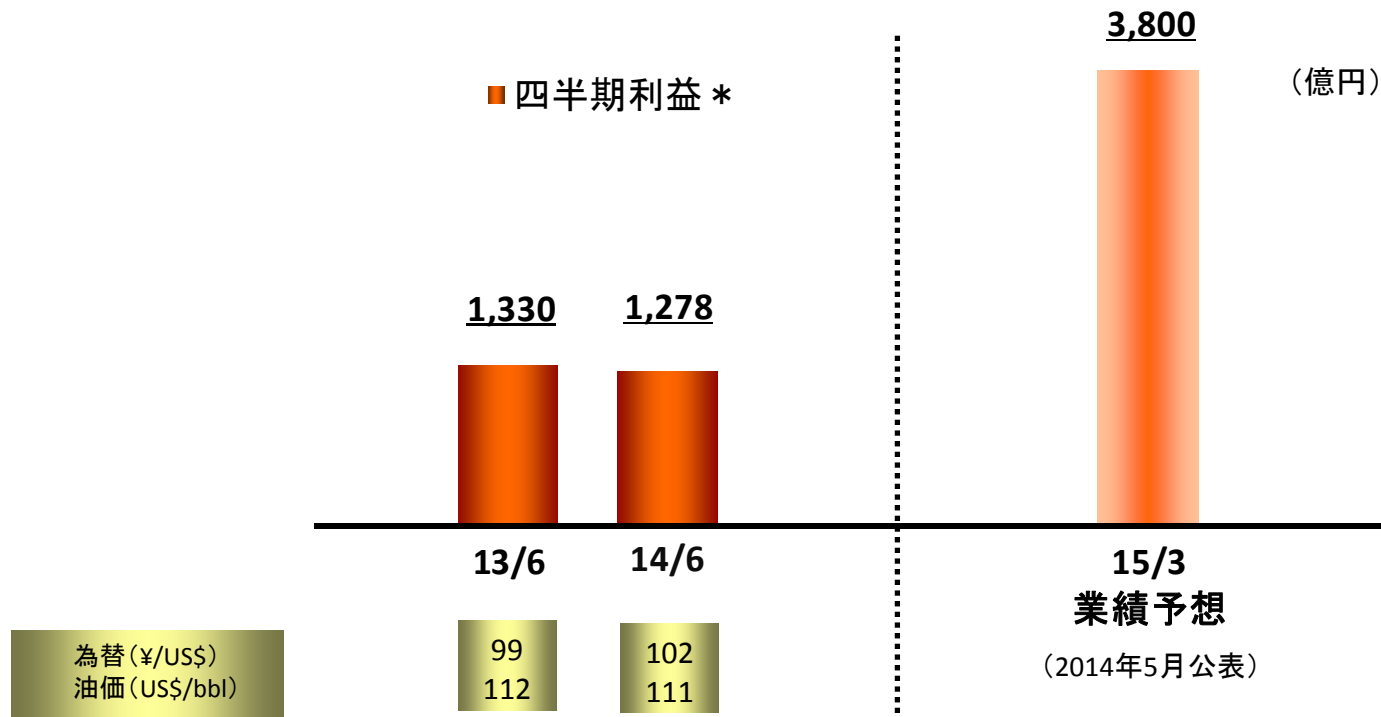
三井物産株式会社  
2014年8月6日

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 2015年3月期第1四半期決算(IFRS)業績概要

先進国経済は堅調なファンダメンタルズが景気回復への加速を支える一方、新興国経済はファンダメンタルズの更なる改善が期待される。

- ✓ 四半期利益は1,278億円。当期業績予想3,800億円に対する進捗率は約34%。
- ✓ 商品市況の弱含みあったものの、機械・インフラ事業がIPPを中心に好調、またエネルギーでは北米の寒波による堅調なガス価格やLNGプロジェクトからの配当収入が寄与。

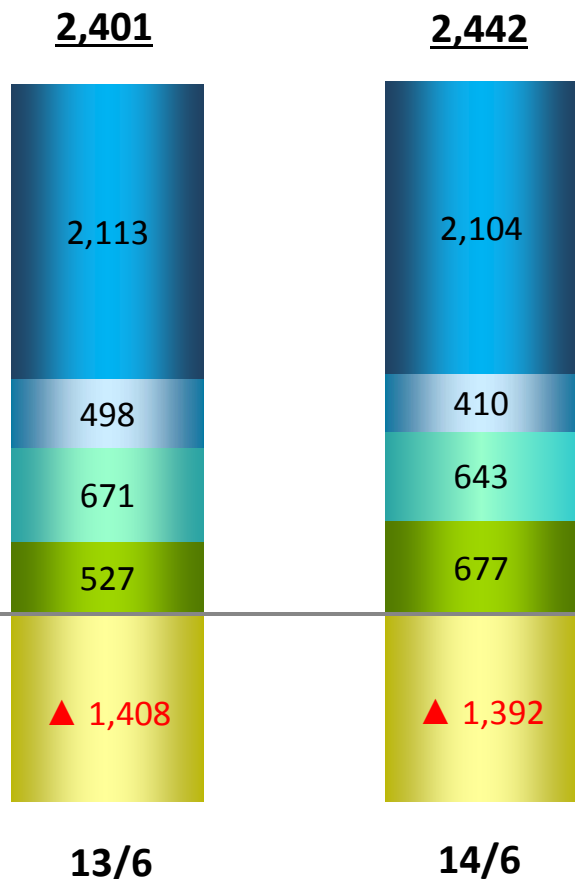


\*本資料では「第1四半期累計期間の四半期利益 (親会社の所有者に帰属)」を「四半期利益」と表記しています。

# 主要PL項目の前年同期比較

- ✓ 当期より経常的収益力を測る経営指標としてEBITDAを採用。当四半期のEBITDAは2,442億円で、前年同期比ほぼ横ばい。
  - ・ 受取配当金：LNGプロジェクトから大口配当あるも、前年同期比88億円の減少。
  - ・ 持分法による投資利益：Valeparは鉄鉱石価格の下落や固定資産減損を反映、その他小口集積により28億円の減益。
  - ・ 減価償却費は、石油・ガス生産事業や豪州鉄鉱石事業を主として150億円の増加。

## EBITDA\*



**売上総利益** 2,104億円 前年同期比 ▲9億円 (±0%)

- ↓ 金属資源：▲48億円(豪州鉄鉱石事業：鉄鉱石の価格下落により▲52億円)
- ↓ 鉄鋼製品：▲43億円(LNGプロジェクト向けラインパイプ出荷終了及びその他鋼材取引量減)
- ↑ 次世代・機能推進：+120億円(商品デリバティブ取引関連為替損益に対応する利益等)

**受取配当金** 410億円 前年同期比 ▲88億円 (▲18%)

- ↓ LNGプロジェクト：▲124億円
- ↑ JA三井リースの優先株：+40億円

**持分法による投資利益** 643億円 前年同期比 ▲28億円 (▲4%)

- ↓ Valepar：▲40億円(鉄鉱石価格下落及び保有する鉄鉱石・石炭資産の減損)
- ↑ Arch Pharamalabs：+42億円(固定資産減損等の反動)

**減価償却費及び無形資産等償却費** 677億円 前年同期比 +150億円 (+28%)

- ↑ エネルギー：+99億円(石油・ガス生産事業+103億円)
- ↑ 金属資源：+38億円(豪州鉄鉱石事業+36億円)

**販売費及び一般管理費** ▲1,392億円 前年同期比 +16億円 (+1%)

\* 売上総利益+販売費及び一般管理費+受取配当+持分法による投資利益+減価償却費及び無形資産等償却費

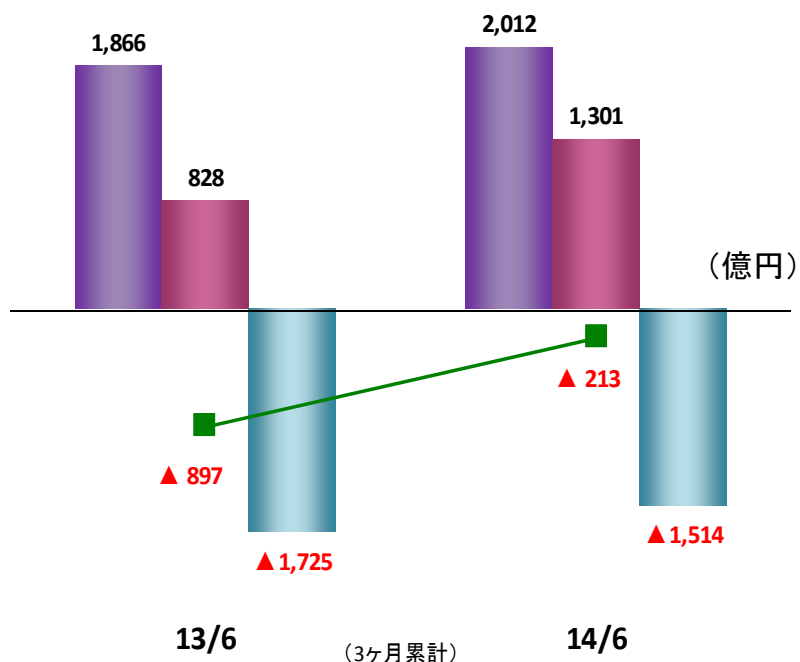
- ✓ 投融資は、既存事業 + パイプライン案件を中心に約1,850億円。
- ✓ 資産リサイクルも着実に実行し、約500億円を回収。ネット資金支出は1,350億円。

セグメント	第1四半期 実行分 (億円)	主要案件
鉄鋼製品	0	
金属資源	250	◀ 豪州鉄鉱石の能力拡張、豪州鉄鉱山開発
機械・インフラ	850	◀ ブラジル一般貨物輸送事業、ブラジルFPSOリース
化学品	50	◀ 米メタノール製造
エネルギー	500	◀ 米シェールガス・オイル開発、タイ沖事業開発
生活産業	100	◀ 富士製薬追加投資
次世代・機能推進	0	
海外	100	◀ 米タンクターミナル拡張、米シニア施設・住宅
<b>合計</b>	<b>1,850</b>	◀ 既存事業 + パイプライン案件 1,750   新規事業 100
リサイクル	△500	◀ Valepar優先株、インドネシアアンモニア製造設備 (KPA)
<b>ネット</b>	<b>1,350</b>	

## キャッシュ・フロー

- ✓ 基礎営業キャッシュ・フローは2,012億円を獲得。
- ✓ フリーキャッシュ・フローは213億円の資金支出。

\* 基礎営業キャッシュ・フロー 営業キャッシュ・フロー 投資キャッシュ・フロー フリーキャッシュ・フロー



\*営業活動に係るCF - 運転資本の増減に係るCF

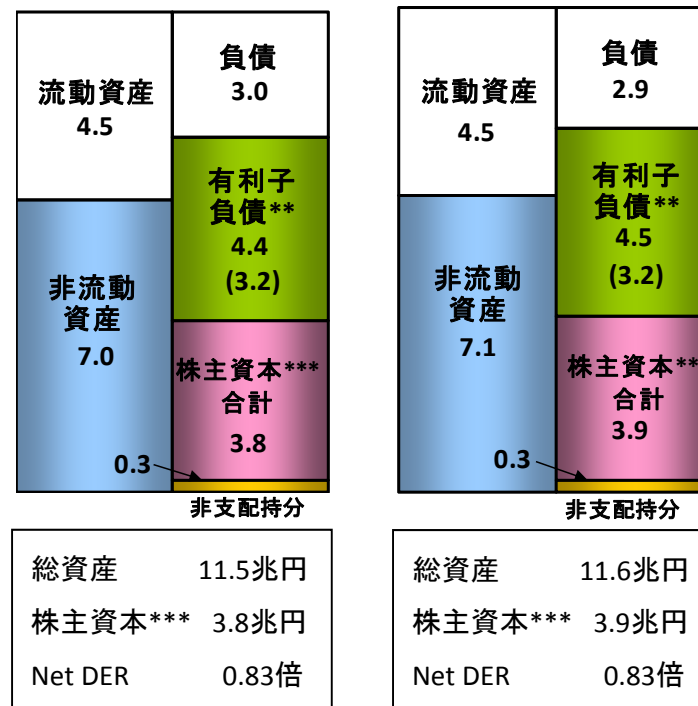
## バランスシート

- ✓ 株主資本は、利益剰余金の積み上げ等により約600億円増加。
- ✓ ネットDERは0.83倍。

14/3

14/6

(兆円)

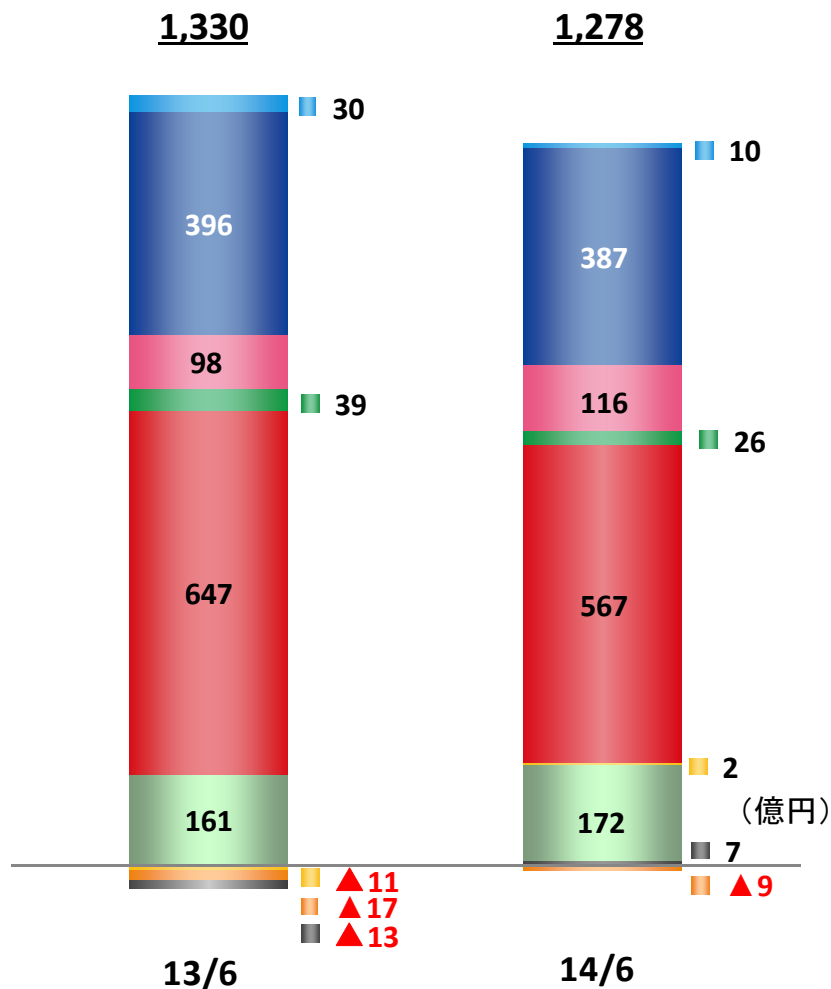


\*\*有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

\*\*\*本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。

# セグメント別四半期利益の前年同期比増減

(数値は税後ベース)



**エネルギー** 567億円 前年同期比 ▲80億円 (▲12%)

- ↓ LNGプロジェクトからの受取配当金減▲124億円
- ↓ 三井石油開発(MOECO)は、コスト増を主因に▲29億円
- ↑ MEPUSAは、ガス価格の上昇及び数量増により+54億円
- ↑ MEPAUは、油田生産設備の改修に伴う生産量減の反動を主因に+31億円

**鉄鋼製品** 10億円 前年同期比 ▲20億円 (▲67%)

- ↓ LNGプロジェクト向けラインパイプ出荷終了等
- ↓ 海外鋼材市況低迷による数量減

**金属資源** 387億円 前年同期比 ▲9億円 (▲2%)

- ↓ 豪州鉄鉱石事業は、数量増の一方、鉄鉱石価格下落により▲43億円 \* \*当セグメント持分
- ↓ Valeparは、鉄鉱石価格下落及び保有する鉄鉱石・石炭資産の減損▲26億円
- ↑ MRMDは、リストラ関連費用の反動増等により+23億円

**機械・インフラ** 116億円 前年同期比 +18億円 (+18%)

- ↑ IPP事業に係るMTM損益+12億円、及び新規事業の貢献

**生活産業** 2億円 前年同期比 +13億円

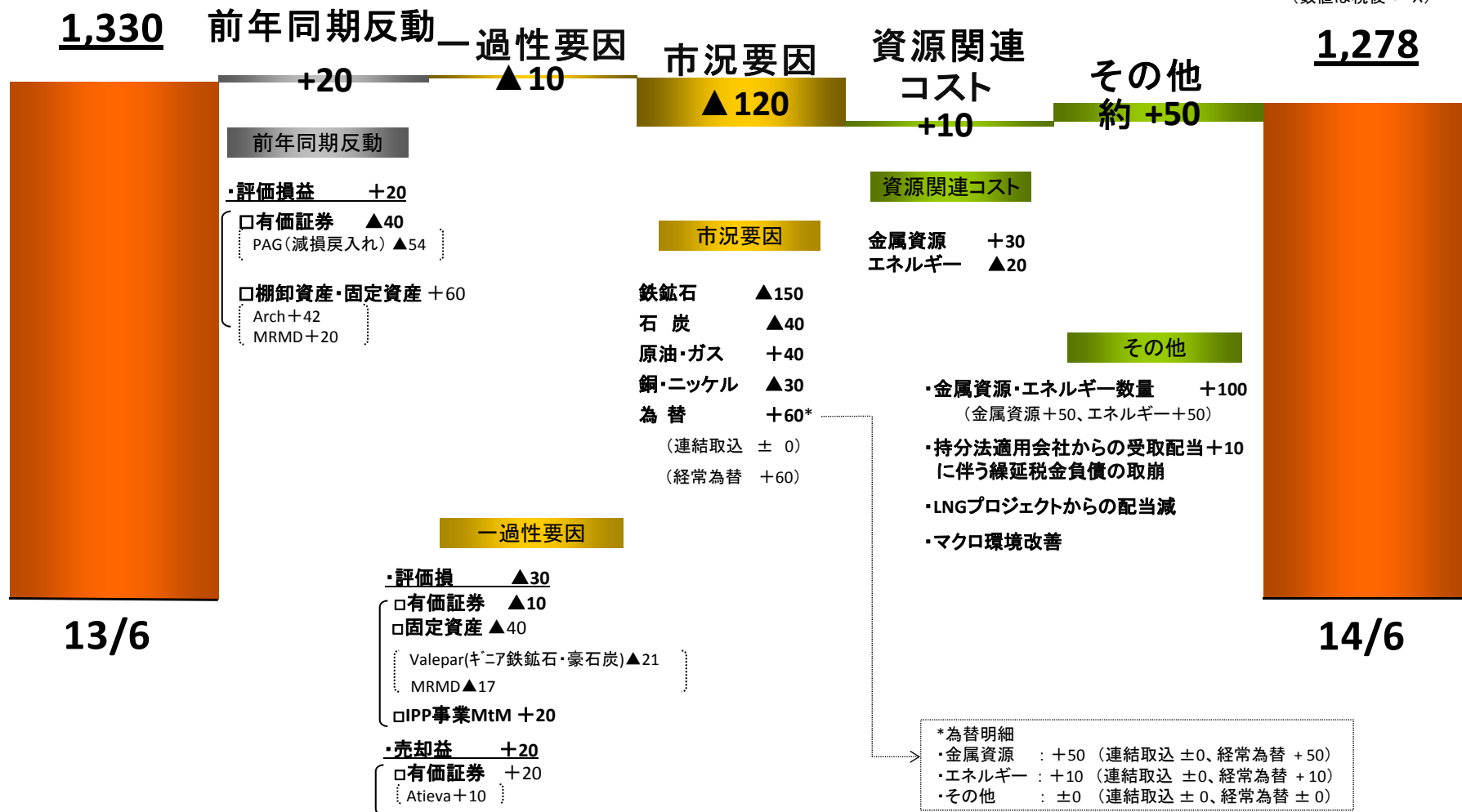
- ↑ Arch Pharmalabsは、固定資産減損等の反動+42億円
- ↓ Multigrain Tradingは、穀物相場上昇の一方、引当金計上基準変更により▲13億円
- ↓ コーヒーのトレーディング不調▲10億円

化学品	26億円	前年同期比	▲13億円
海外	172億円	前年同期比	+11億円
次世代・機能推進	▲9億円	前年同期比	+8億円
その他、調整・消去	7億円	前年同期比	+20億円

# 四半期利益の前年同期比 増減要素

(億円)

(数値は税後ベース)



注) 本頁の金属資源、エネルギーはグローバルベースの数値

# Appendix



# 2015年3月期 市況の前提・感応度

14/3通期 (実績)	価格変動の15/3期当期利益 への影響額 (2014年5月公表)			15/3通期 (前提)	15/3 1Q (実績)
110	市況 商品	原油/JCC	18 億円 (US\$1/バレル)	102	110
110		連結油価 (*1)		104	111
3.73		米国ガス(*2)	3 億円 (US\$0.1/mmBtu) (*2)	4.25(*3)	4.58
122 (*4)		鉄鉱石	25 億円 (US\$1/トン)	(*5)	103.3(*4)
7,326 (*6)		銅	7 億円 (US\$100/トン)	7,000	7,038(*6)
100.49		為替 (*7)	米ドル	27 億円 (¥1/米ドル)	100
92.91	豪ドル		15 億円 (¥1/豪ドル)	95	95.16
44.67	伯リアル		5 億円 (¥1/伯リアル)	45	45.93

(\*1) 油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されるため、この前提で連結油価を計算。

15/3期は、35%が4~6ヶ月遅れ、41%が1~3ヶ月遅れ、24%が遅れ無しで反映されると想定される。

(\*2) 米国シェールガスはHenry Hub (HH) に連動しない価格でも販売しているため、上記感応度はHH価格に対する直接的な感応度ではなく、加重平均ガス販売価格に対する感応度。

(\*3) HH連動の販売価格は、HH価格US\$4.25/mmBtuを前提として使用している。

(\*4) 鉄鉱石の14/3期通期実績欄には、2013年4月~2014年3月、15/3期1Q実績欄には、2014年4月~6月の複数業界紙によるスポット価格指標 Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値(参考値)を記載。

(\*5) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

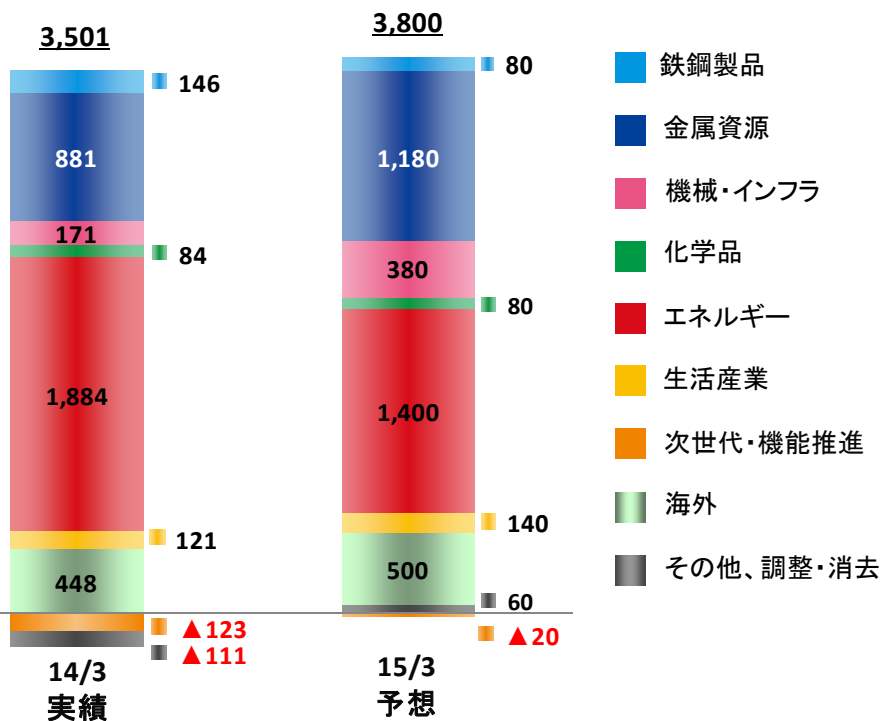
(\*6) 銅の14/3期実績欄には、LME cash settlement priceの2013年1月~12月のmonthly averageの平均、15/3期1Q実績欄には2014年1月~3月のmonthly averageの平均を記載。

(\*7) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対する感応度。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。

金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

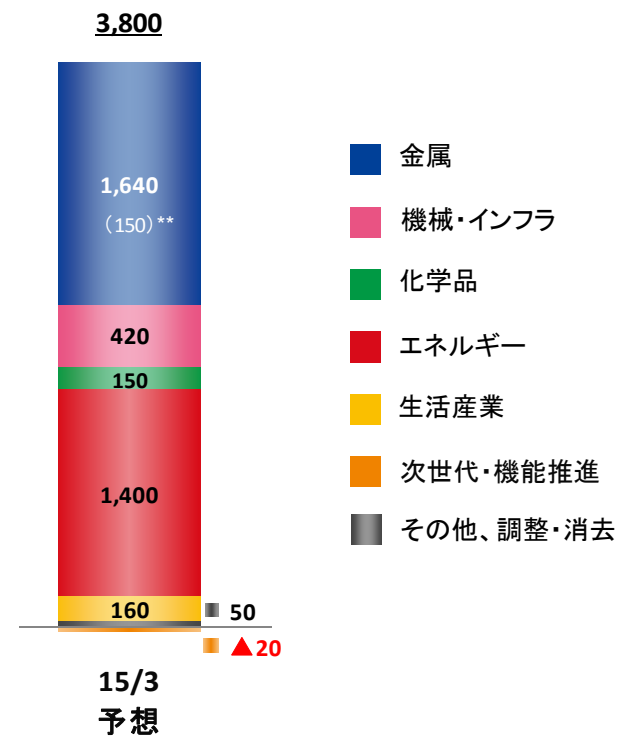
## セグメント別

(億円)



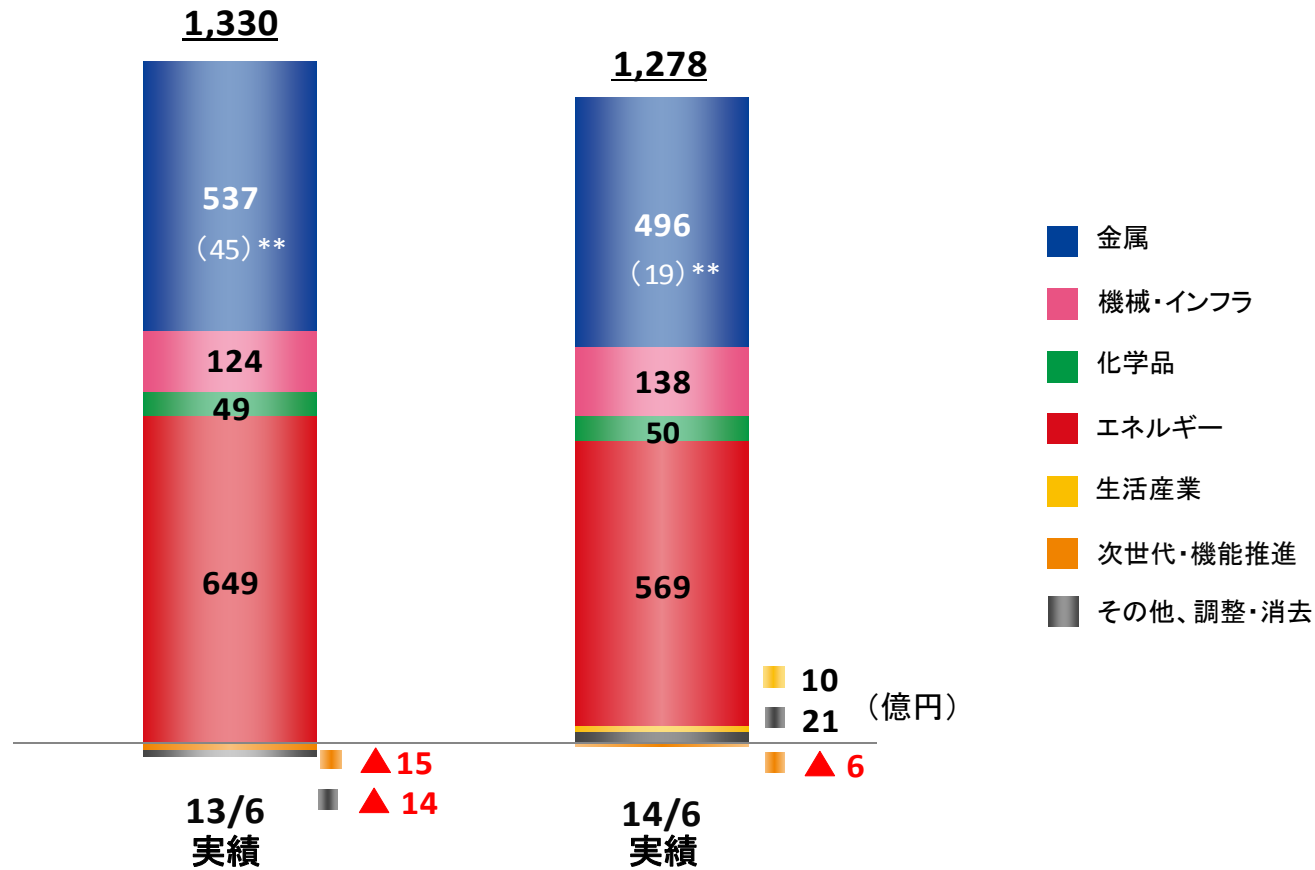
## 事業分野 ベース (参考値\*)

(億円)



\* 海外店実績を事業分野別に組替え算出した参考データ  
 \*\* ( )内は、鉄鋼製品のグローバルベースの数値

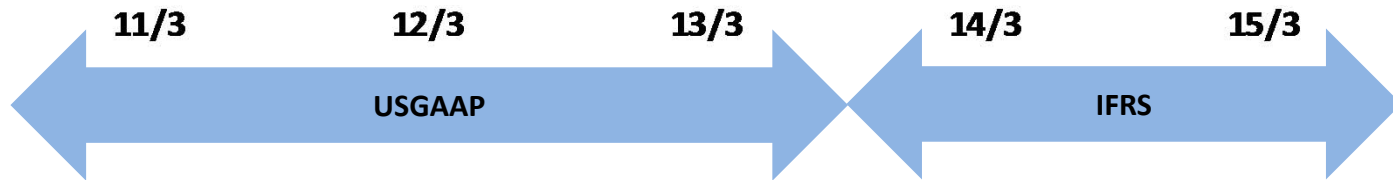
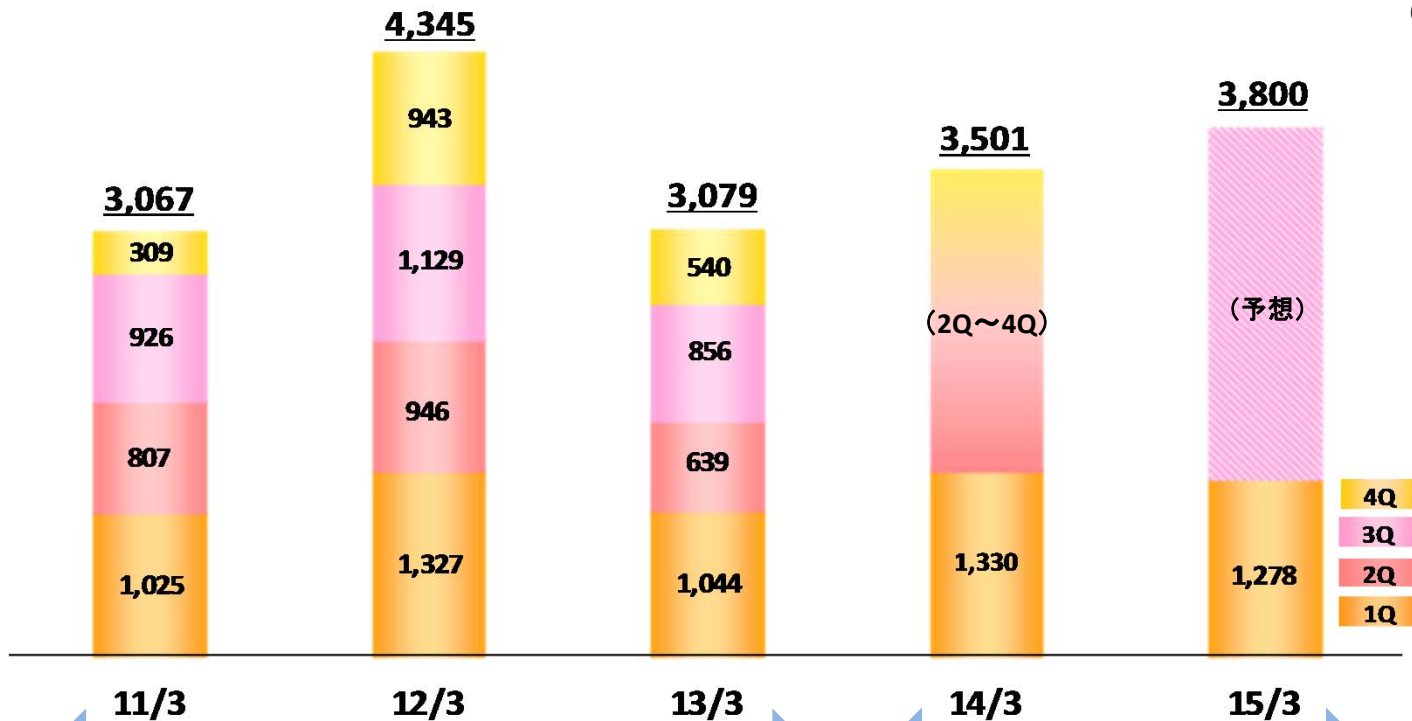
# 事業分野別(全世界ベース) 四半期利益(参考値\*)



\* 海外店実績を事業分野別に組替え算出した参考データ  
 \*\* ( )内は、鉄鋼製品のグローバルベースの数値

# 四半期利益の推移

(億円)



為替 (¥/US\$)	85	79	83	100	102*
油価 (US\$/bbl)	80	108	114	110	111*
					*第1四半期3ヶ月平均値

# 中国向け鉄鉱石スポット価格推移 (参考値\*)

(US\$/DMT)

CFR North China (粉鉱、Fe 62%)



\*業界紙複数社によるスポット指標平均

# 当社持分権益出荷量実績

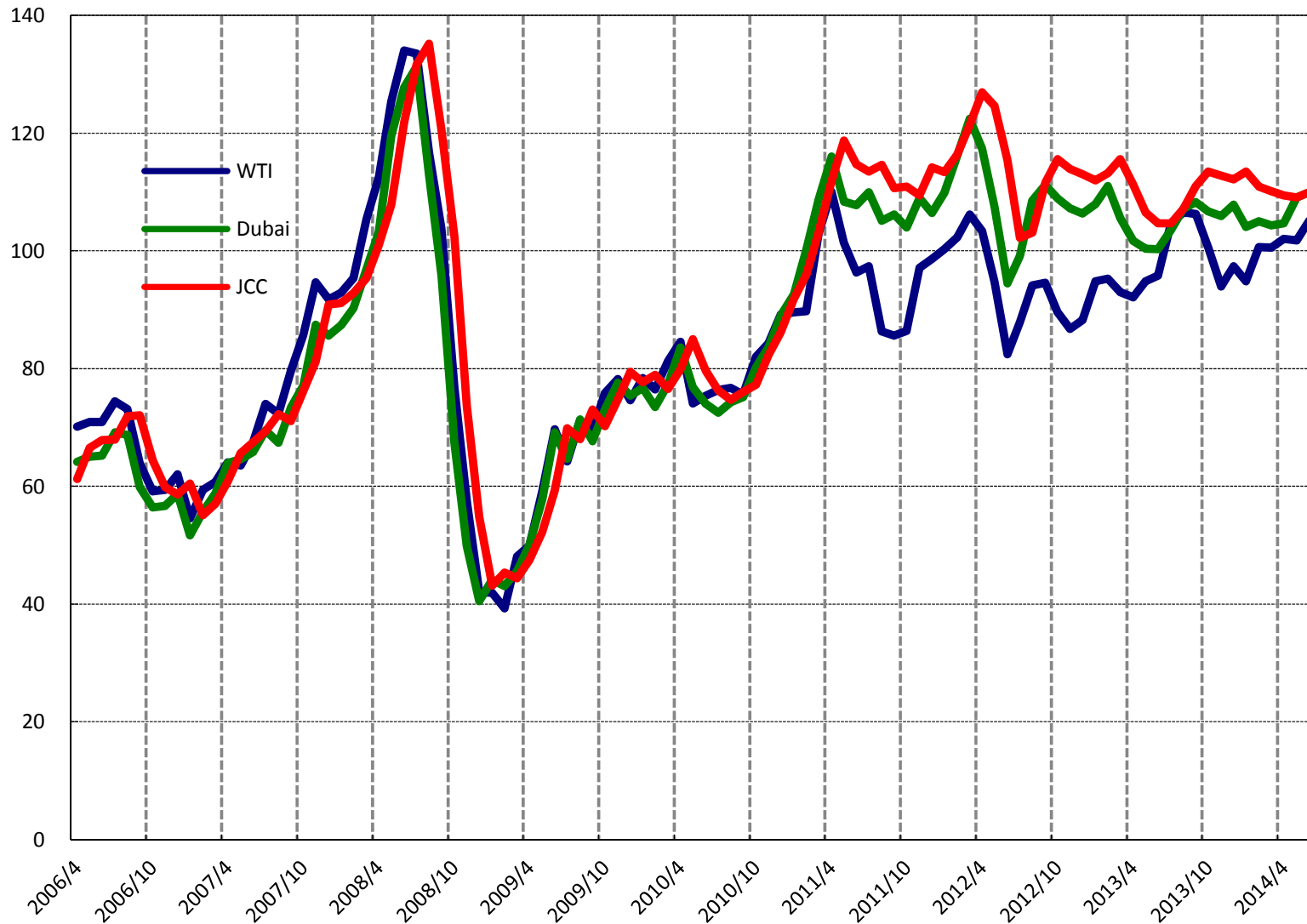
	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q	14/3期 累計	15/3期 1Q*	15/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	12.0	13.0	13.5	12.8	51.3	13.2	13.2
MIOD	7.4	8.1	8.0	6.9	30.4	7.9	7.9
MII	1.3	1.3	1.3	1.6	5.6	1.9	1.9
Vale*	3.3	3.6	4.2	4.2	15.3	3.4	3.4
石炭 (百万トン)**	2.5	2.7	2.8	2.8	10.7	2.7	2.7
MCH	2.1	2.3	2.4	2.4	9.1	2.3	2.3
BMC*	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6	0.4	0.4
原料炭	1.6	1.7	1.9	1.7	7.0	2.1	2.1
一般炭	0.8	1.0	0.9	1.0	3.7	0.6	0.6
銅 (千トン)**	21.2	23.6	31.2	32.3	108.3	29.1	29.1

\*Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

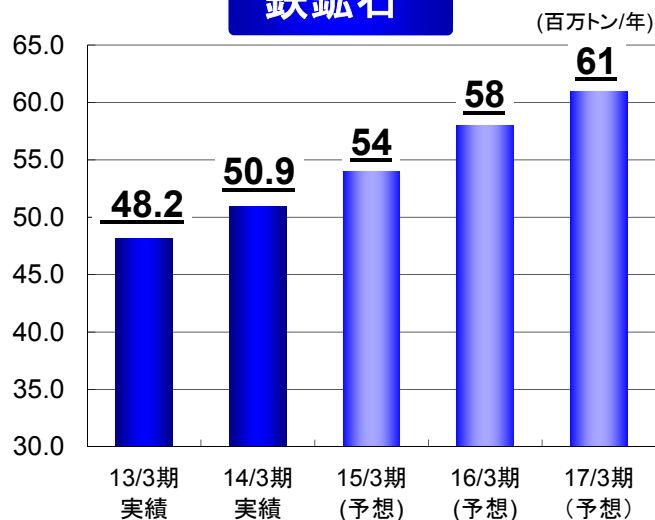
\*\*Vale出荷分の5%を含む。

※合計が合わない箇所は四捨五入による。

US\$/バレル

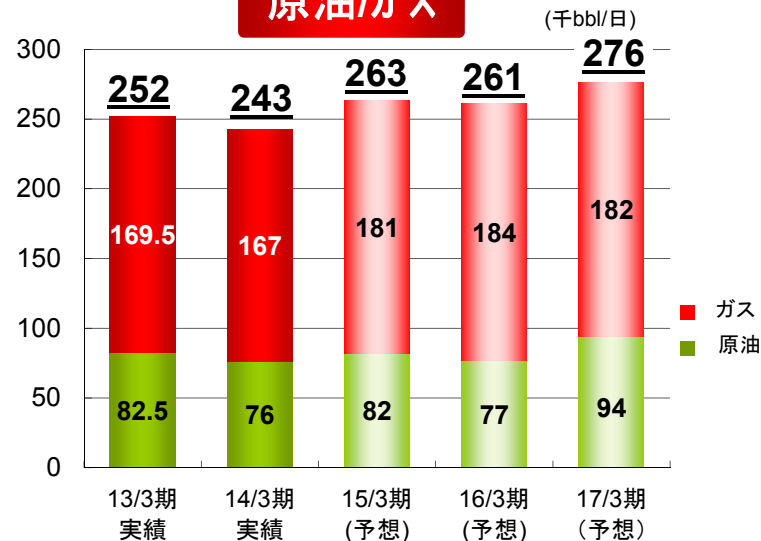


## 鉄鉱石\*



\*ヴァーレ社生産分の5%を含む

## 原油/ガス

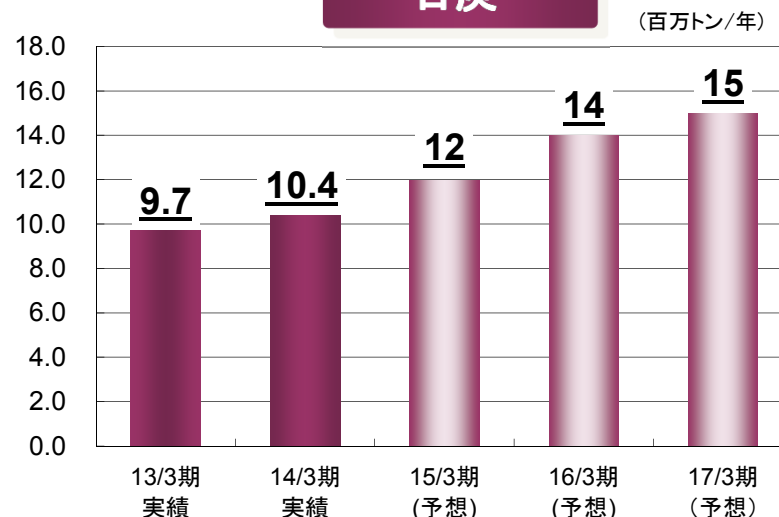


## 銅\*



\*ヴァーレ社生産分の5%を含む

## 石炭\*

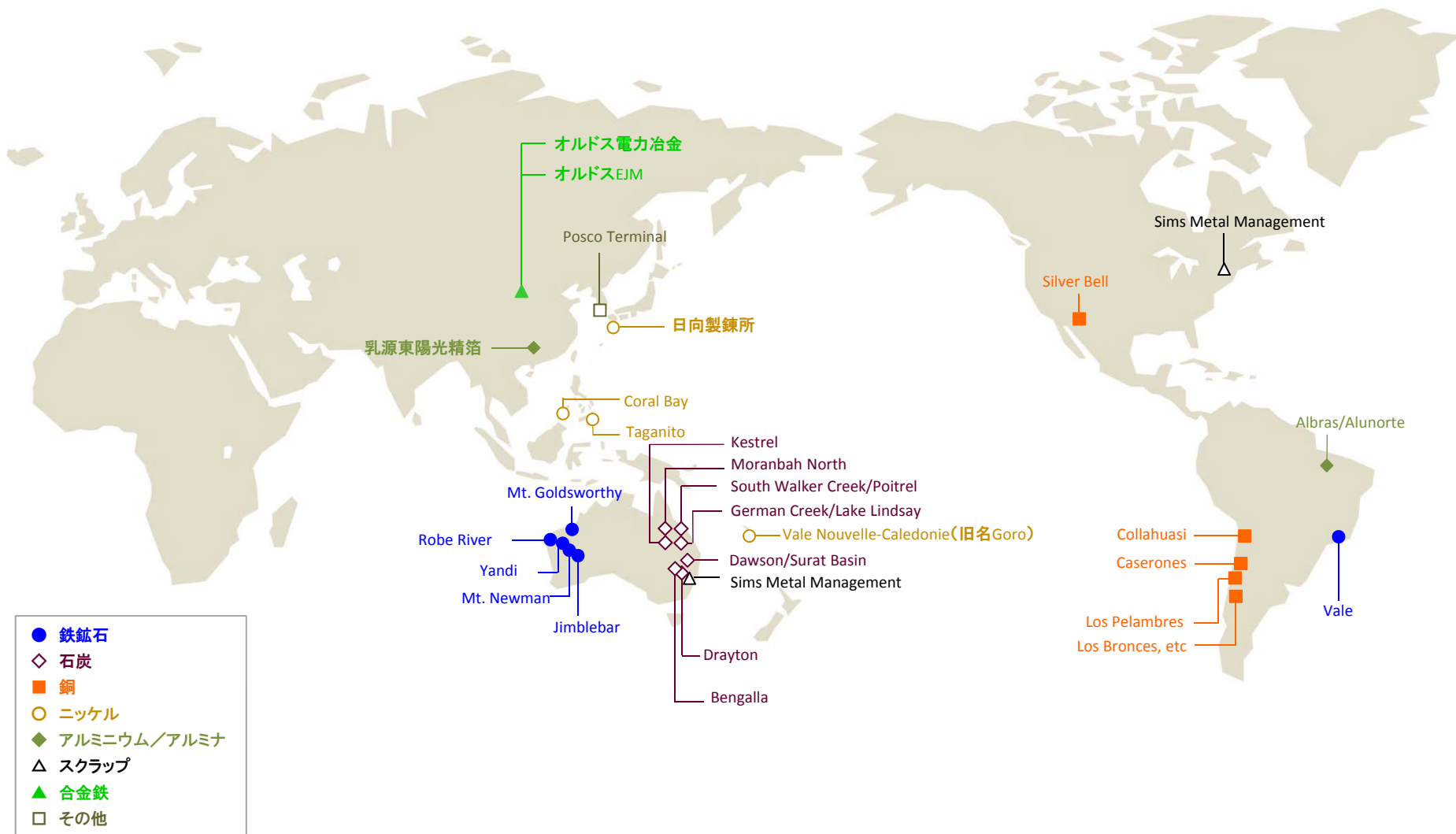


\*2015年3月期からヴァーレ社生産分の5%を含む



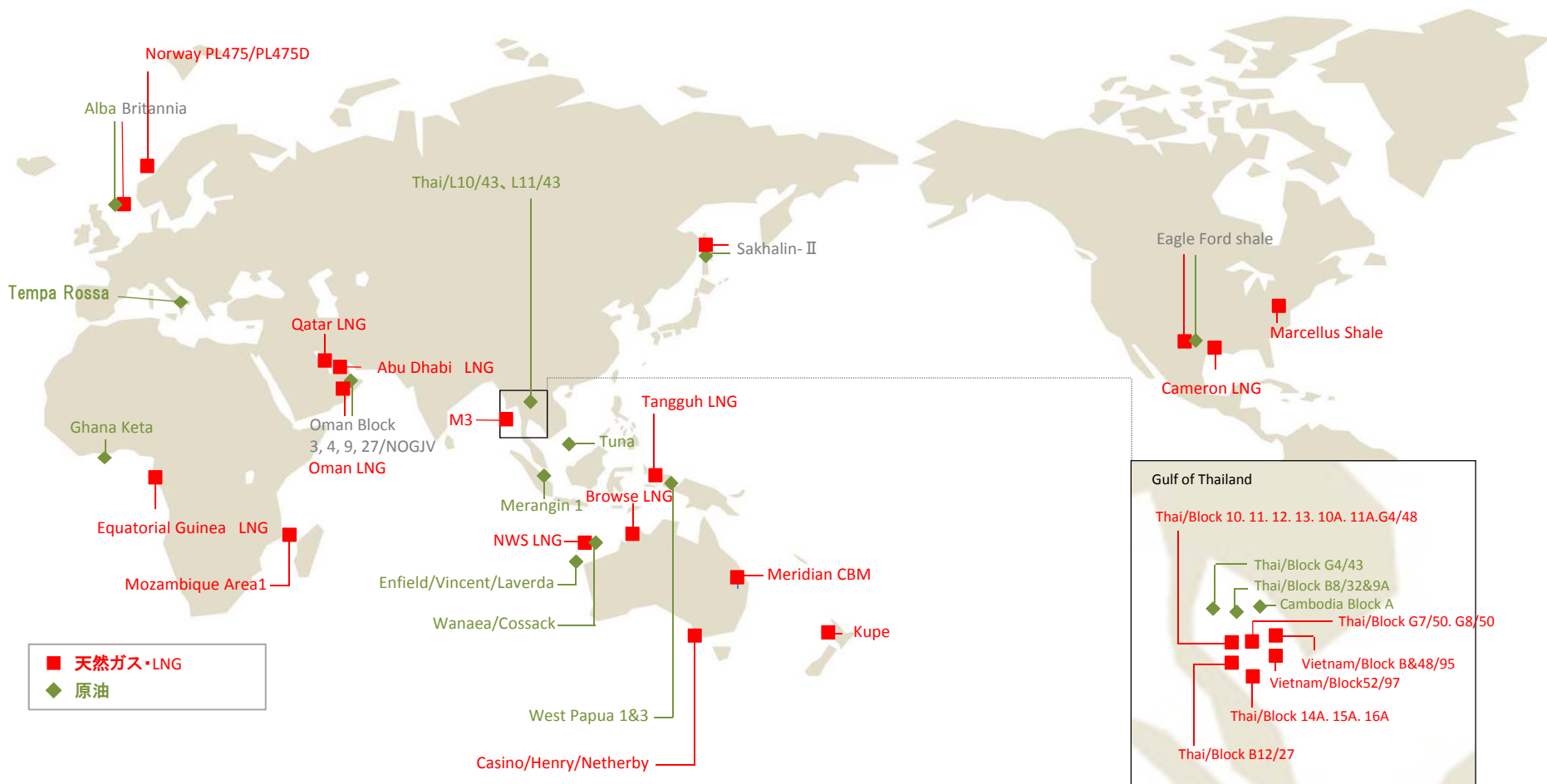
# 金属資源の主なプロジェクト

2014年6月末現在



# エネルギーの主な上・中流権益

2014年6月末現在



# 原油・ガスの主な上・中流権益

2014年6月末現在

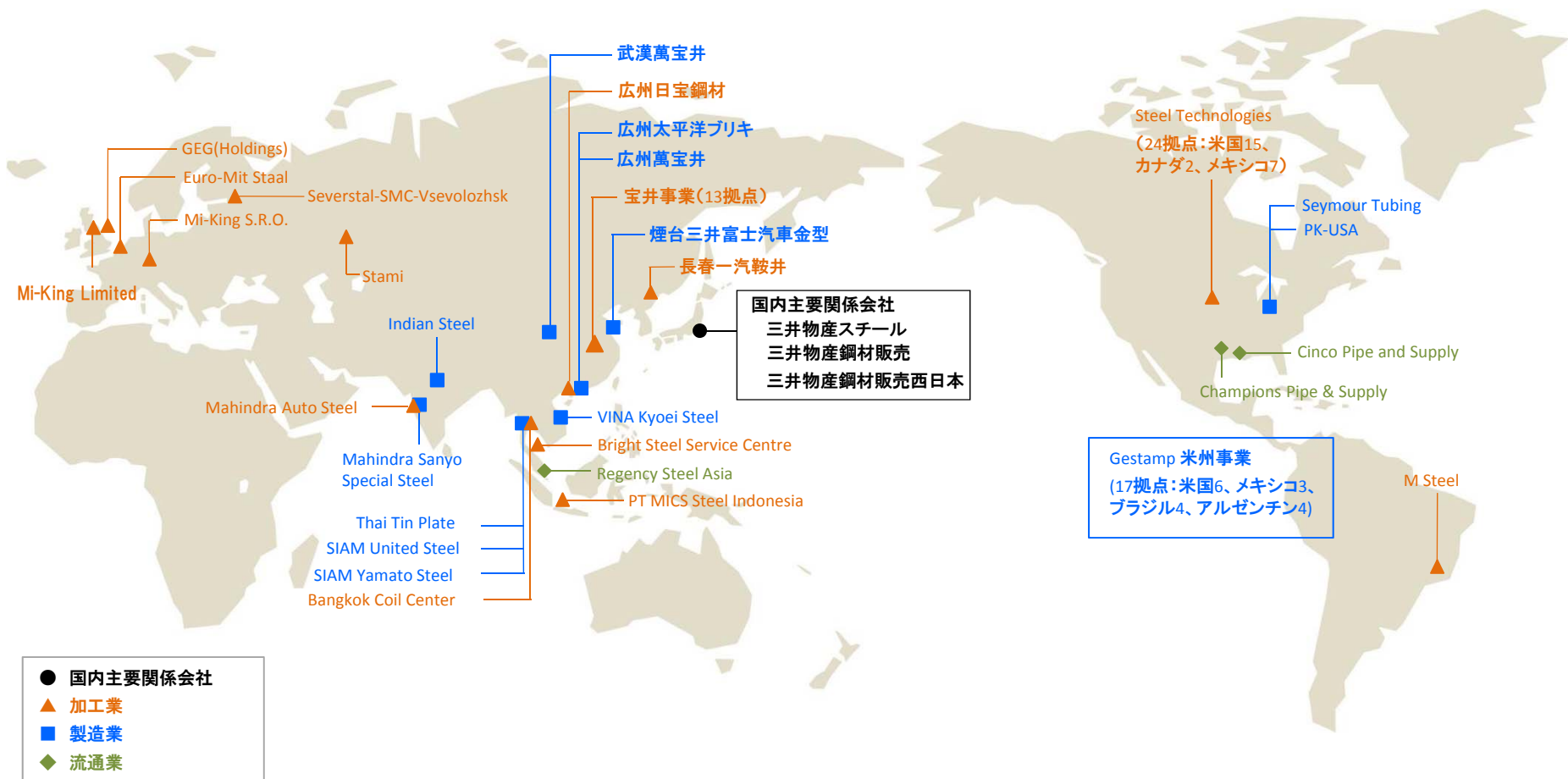


	探鉱段階	開発段階	生産段階
天然ガス LNG	<p><b>豪州</b>: Laverda*1 and 23 other permits (MEPAU)</p> <p><b>ニュージーランド</b>: PEP50119 and PEP54863 (MEPAU)</p> <p><b>タイ</b>: Block L10/43. and 2 other permits (MOECO)</p> <p><b>ベトナム</b>: Blocks B&amp;48/95, 52/97*1 (MOECO)</p> <p><b>カンボジア</b>: Block A (MOECO)</p> <p><b>インドネシア</b>: Merangin I, Tuna, West Papua I / III (MOECO)</p> <p><b>ミャンマー</b>: M3 (MOECO)</p> <p><b>ポーランド</b>: Poland Shale (MEPPOL)</p> <p><b>ノルウェー</b>: PL475/PL475D (MOECO)</p> <p><b>イエメン</b>: Block 7 (MEPME)</p> <p><b>リビア</b>: Block 201 (MOECO)</p> <p><b>モザンビーク</b>: Area1*1 (MEPMOZ)</p> <p><b>ガーナ</b>: Keta (MEPGK)</p>	<p><b>米国</b>: Marcellus Shale (MEPUSA)*2 Eagle Ford Shale (MEPTX)*2 Cameron LNG (液化事業参画子会社)</p> <p><b>豪州</b>: Meridian CBM (MEPAU)*2 Browse LNG (JAL-MIMI)</p> <p><b>モザンビーク</b>: Area1*1 (MEPMOZ)</p>	<p><b>ロシア</b>: Sakhalin II LNG (Sakhalin Energy)</p> <p><b>豪州</b>: NWS LNG (JAL-MIMI), Casino/Henry/Netherby, Meridian CBM (MEPAU)</p> <p><b>ニュージーランド</b>: Kupe (MEPAU)</p> <p><b>タイ</b>: Blocks 10.11.12.13.10A.11A.G4/48, Block B12/27, Blocks 14A.15A.16A, Blocks B8/32&amp;9A, Block G4/43 (MOECO)</p> <p><b>インドネシア</b>: Tangguh LNG (KG Berau/KG Wiriagar)</p> <p><b>米国</b>: Marcellus Shale (MEPUSA) Eagle Ford Shale (MEPTX)</p> <p><b>カタール</b>: Qatargas 1 LNG (MILNED) Qatargas 3 LNG (MITLI)</p> <p><b>オマーン</b>: NOGJV (MEPME) Oman LNG (MITLI)</p> <p><b>アブダビ</b>: Abu Dhabi LNG (MITLI)</p> <p><b>赤道ギニア</b>: Equatorial Guinea LNG (MITLI)</p> <p><b>英国</b>: Britannia (MEPUK)</p>
	原油		<p><b>米国</b>: Eagle Ford Shale (MEPTX)*2</p> <p><b>イタリア</b>: Tempa Rossa (MEPIT)</p>

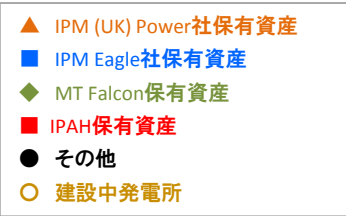
\*1 既発見未開発鉱区 \*2 一部生産段階移行済

# 鉄鋼製品の主な事業投資

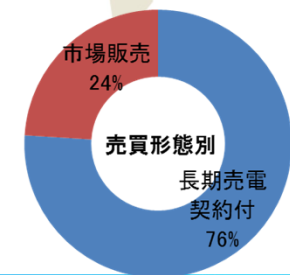
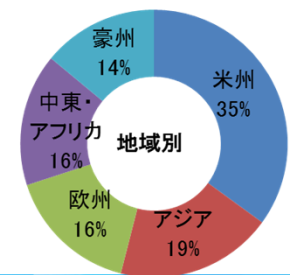
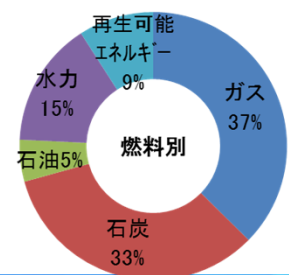
2014年6月末現在



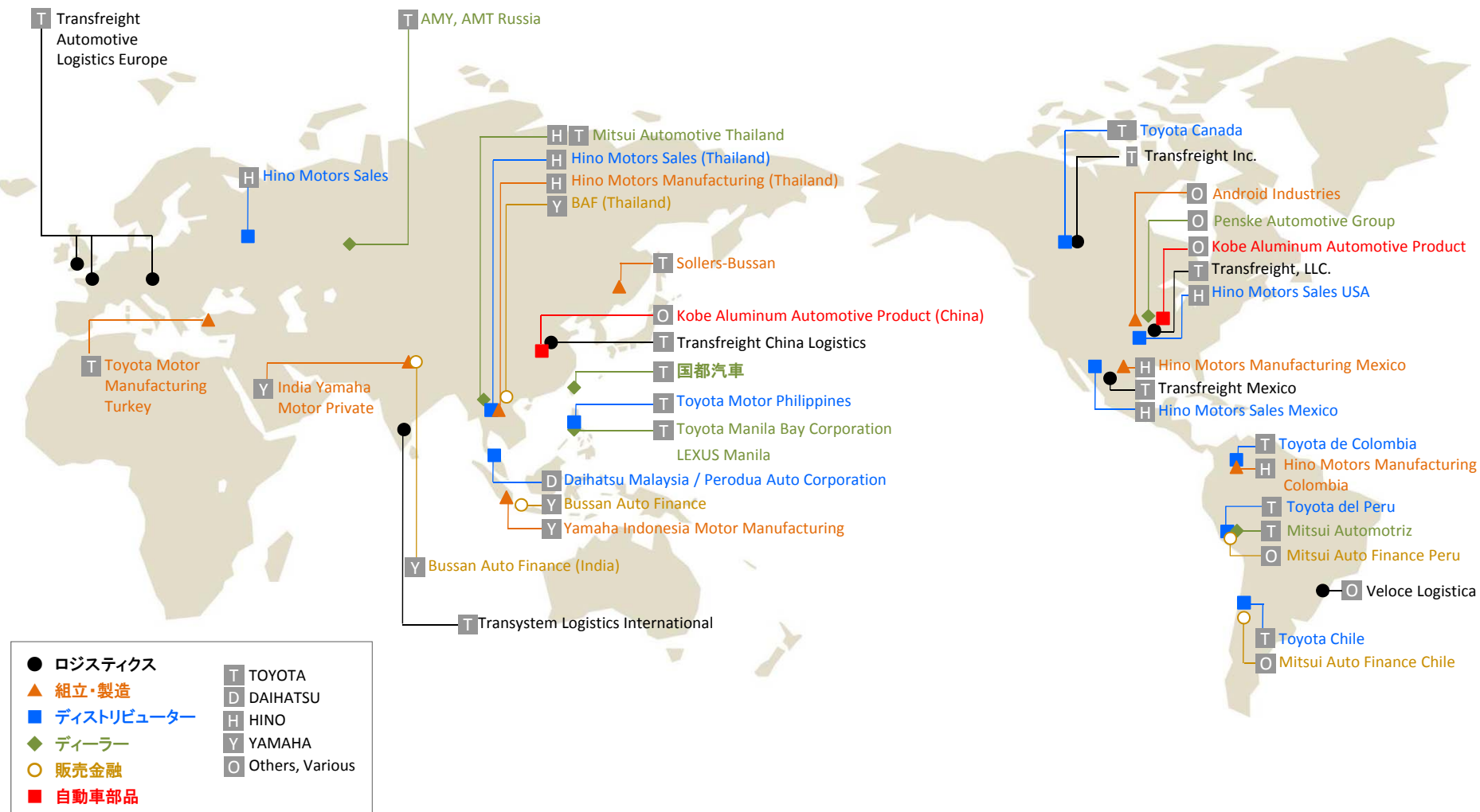
2014年6月末現在



ポートフォリオ分類

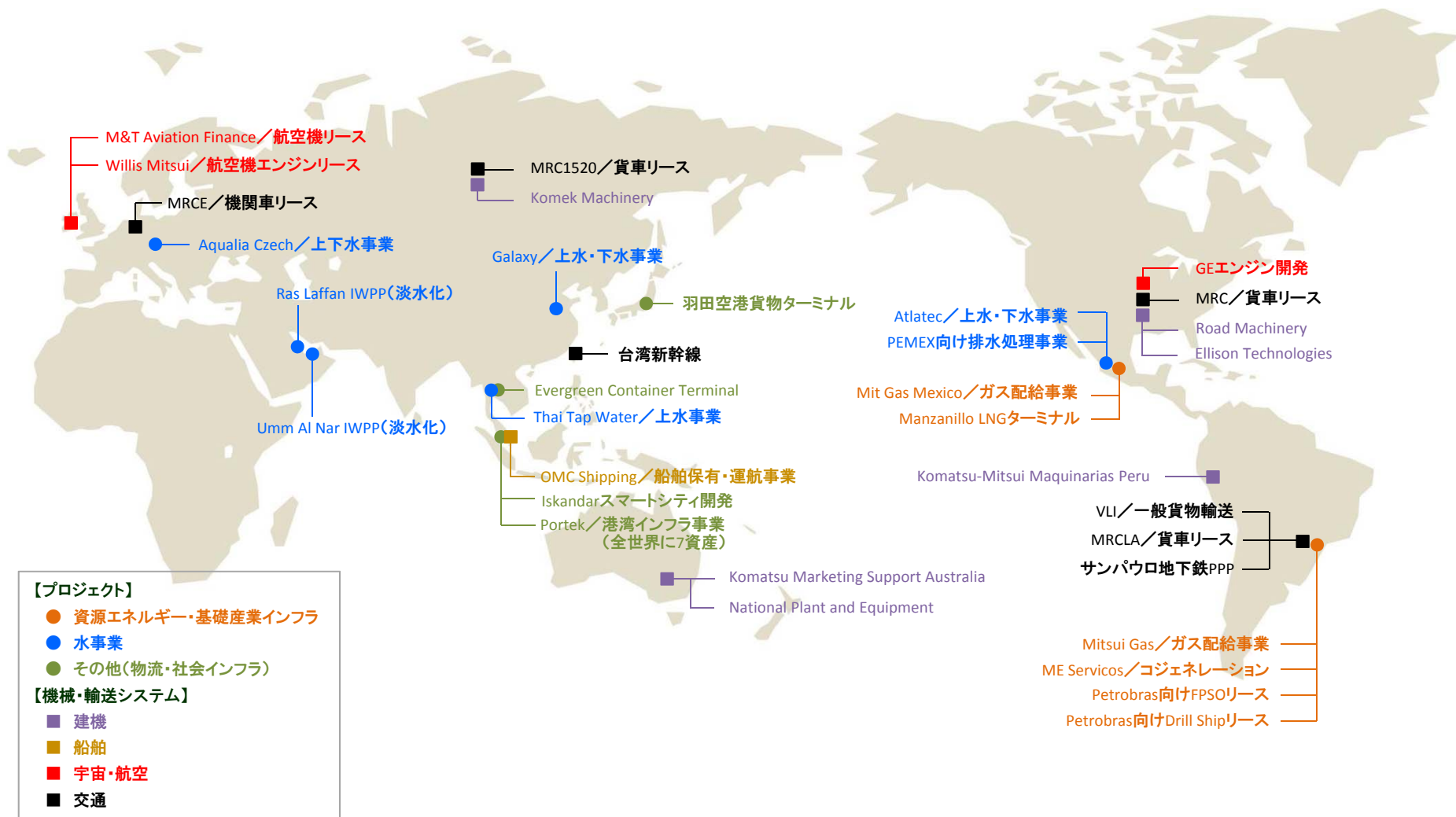


2014年6月末現在



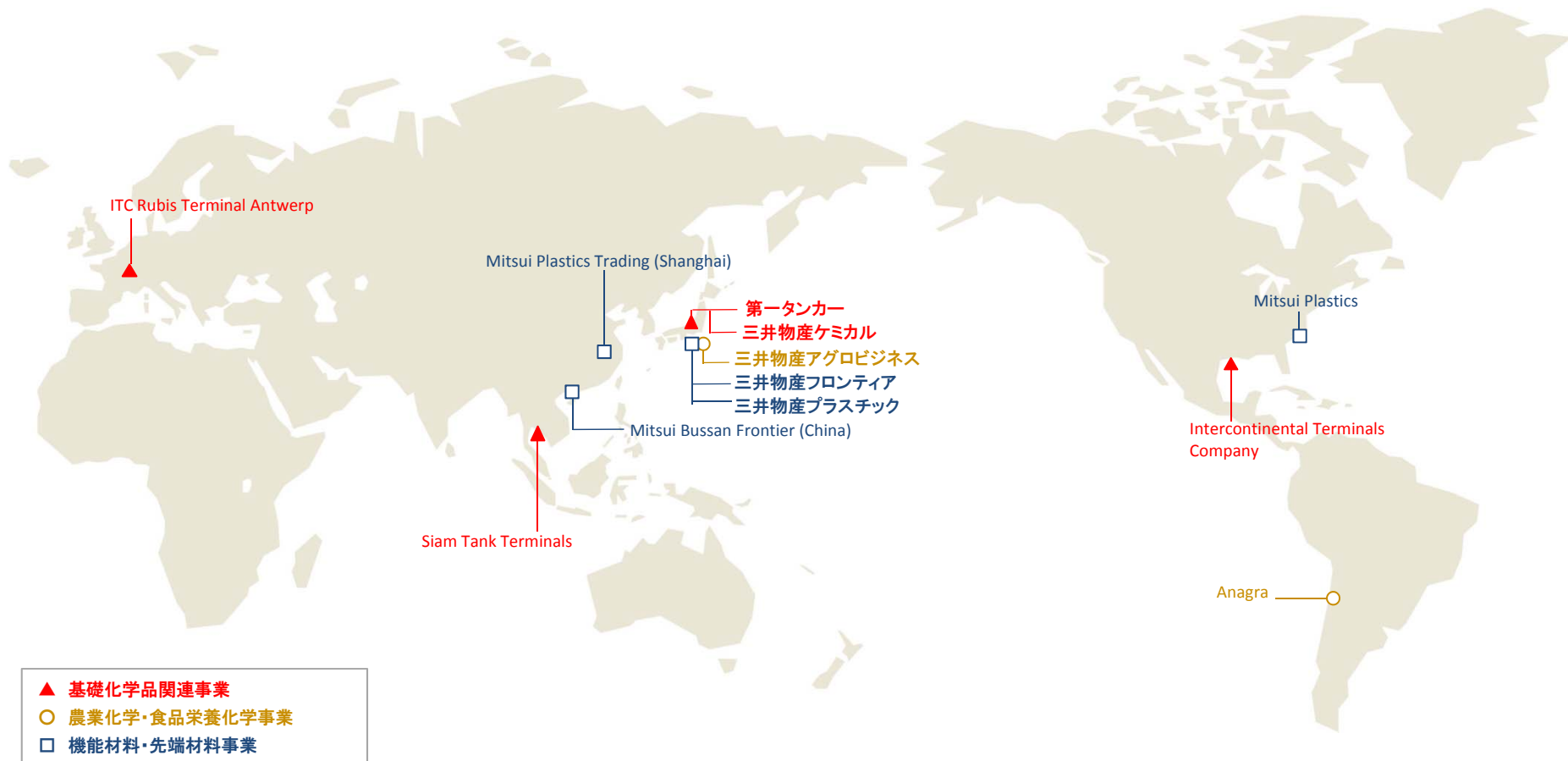
# その他の主な機械・インフラ事業

2014年6月末現在



# 化学品の主な物流事業型投資およびタンクターミナル事業

2014年6月末現在





# 化学品の主な製造事業型投資

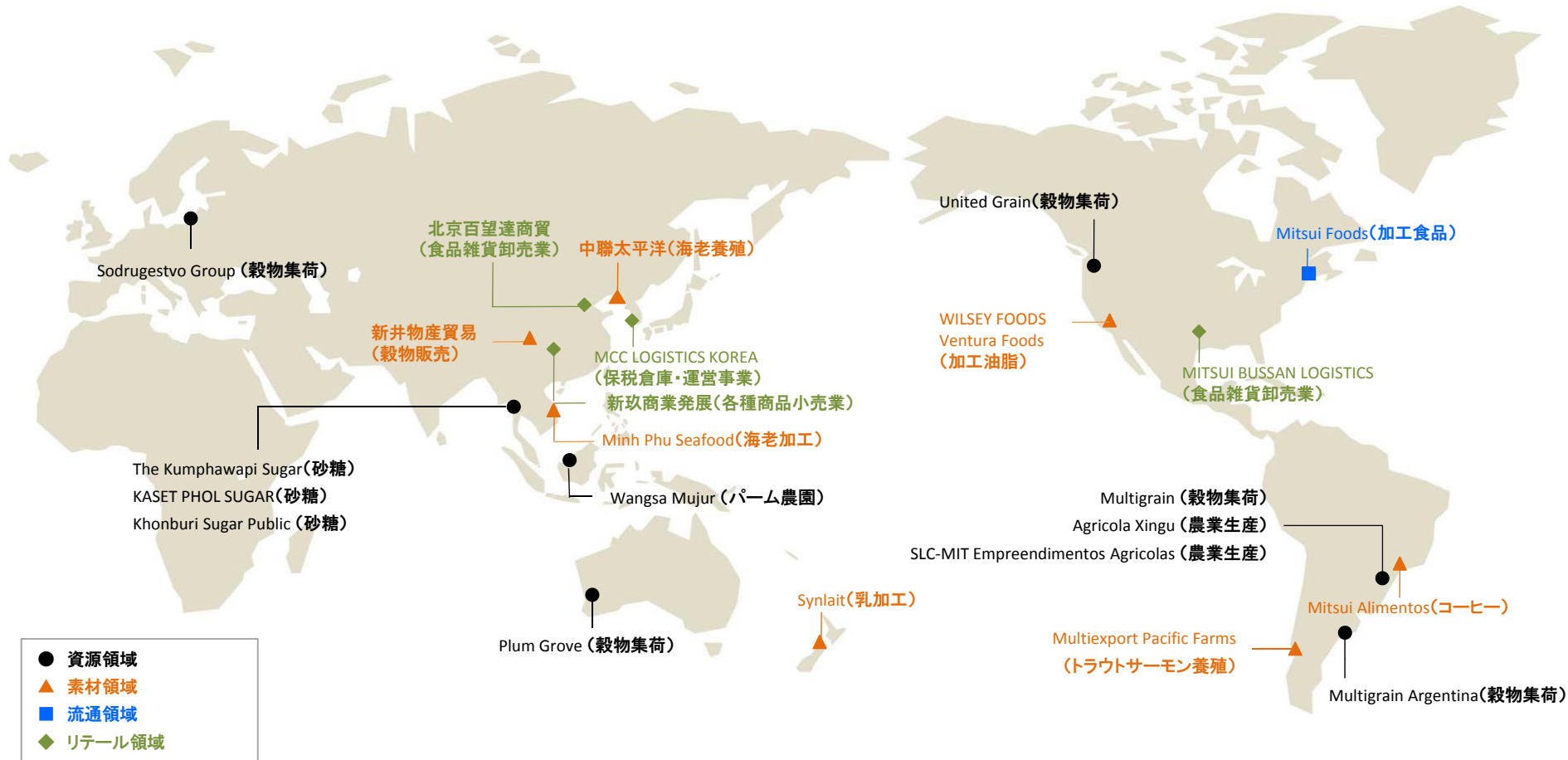
2014年6月末現在



- メタノール・オレフィン事業
- ▲ クロールアルカリ事業
- アロマ・化成事業
- ◆ グリーン・スペシャリティケミカル事業
- 農業化学・食品栄養化学事業
- 機能材料・先端材料事業

# 食糧・食品事業の主な海外事業投資

2014年6月末現在



# コンシューマーサービスの主な事業投資

2014年6月末現在

